



2026 年 10 月 13 日

報道関係者 各位

群馬大学医学部附属病院が生成 AI による医療文書作成支援を開始
－医療文書作成にかかる業務負担の軽減へ－

群馬大学医学部附属病院は、医療文書の作成にかかる負担軽減を目指し、「**NEXT Stage Document Assistant (NSDA)**」の運用を開始しました。電子カルテに蓄積された情報を基に、生成 AI が診療の経過などを整理・要約し、医療文書の下書きを作成します。

1. 本件のポイント

- 群馬大学医学部附属病院で、生成 AI を活用した医療文書作成支援システムの運用を開始しました。
- 電子カルテの各所から必要な情報を探し、整理・要約する作業を支援し、医師等の文書作成にかかる負担軽減を目指します。

2. 本件の背景

退院時に入院中の経過をまとめる退院サマリーや、他の医療機関への紹介に用いる診療情報提供書は、診療の経過や治療方針を医療者間で共有するために重要な文書です。その作成には、電子カルテの各所に記録された情報を確認し、文書の目的に応じて整理・要約する作業が必要です。生成 AI による下書きの作成を通じて、こうした文書作成の負担軽減を目指します。

3. 本件の概要

本システムは、電子カルテから文書に必要な情報を抽出し、生成 AI で医療文書の下書きを作成します。現在、退院サマリー、転科サマリー、診療情報提供書、診断書の文書作成支援機能が実装されています。生成された下書きは、医師等が確認・修正して活用します。文書生成は院内ネットワーク内で行い、患者情報を外部の生成 AI サービスへ送信しない仕組みとしています。

今後は、看護サマリーなどの作成支援機能も導入する予定です。実際の利用状況や現場の声を踏まえて運用を改善し、患者さんへの対応に力を注げる環境づくりを進めます。

【本件に関するお問合せ先】

群馬大学昭和地区事務部医事課医療情報・デジタル変革係

TEL : 027-220-7838

E-MAIL : kk-miryo5@ml.gunma-u.ac.jp

【取材に関するお問合せ先】

群馬大学昭和地区事務部総務課企画・広報係

TEL : 027-220-7895 FAX : 027-220-7720

E-MAIL : m-koho@ml.gunma-u.ac.jp